

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

産業振興課長 松浦 士登

電話番号

0852-22-5291

事務事業の名称	資源循環型技術経営支援事業	
目的	(1) 対象	県内事業者等
	(2) 意図	産業廃棄物の発生抑制に向けた研究開発を行い、事業化を図る。
事業概要	産業廃棄物の発生の抑制・減量化又は再利用・再生利用に関する研究開発を促進するため、県内の排出事業者等が行う研究開発事業への助成や、産業技術センターが技術や製品化に向けた基礎研究を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	採択された技術を活用して、製造または販売を展開した件数 [平成27年度以降の累計]	目標値		1.0	2.0	2.0	3.0	件
	式・定義	採択された技術を活用して、製造または販売を展開した件数 [平成27年度以降の累計]	取組目標値						
			実績値	1.0	1.0	1.0			
			達成率	-	100.0	50.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	35,613	33,800
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 平成29年度資源循環型技術開発事業費補助金：助成実績4件
【採択件数】平成27年度 研究開発枠2件、平成28年度 研究開発枠2件(うち1件継続) 平成29年度 研究開発枠3件、可能性試験研究枠1件
- 平成29年度資源循環型技術基礎研究実施事業
産業技術センターにより、産業廃棄物減量等の基礎研究を新規1件を含む6件実施した。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

資源循環型技術開発事業費補助金では、産業廃棄物の減量や再利用にかかる取組を4件採択したことで、産業廃棄物減量等に対する事業が進んだ。

基礎研究が行われることで、資源循環シーズを創出した。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 産業廃棄物を排出する事業者のニーズに合う研究開発に取り組みしていない。
- 廃棄物の処理コストが高く収益性が乏しい。

②困っている状況が発生している「原因」

- 多様なニーズに合うシーズや情報が不足。
- 廃棄物の処理コスト軽減技術に係る情報等不足。

③原因を解消するための「課題」

- 多様なニーズに対応した基礎研究によるシーズや情報の提供が必要。
- 廃棄物の処理コスト軽減に係る情報収集及び提供が必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 産業技術センターでの多様な市場ニーズをとらえた新たな基礎研究への取組みを支援し、得られたシーズを事業者へ報告会等で提供する。
- 廃棄物対策課等と連携し、廃棄物の処理コスト軽減に係る情報収集及び提供を報告会等で行う。